

奥羽大学

【理念】

高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する。

【目的】

奥羽大学は、教育基本法(平成 18 年法律第 120 号)並びに学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部のその目的は、次の各号のとおりとする。

- (1) 歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成することを目的とする。
- (2) 薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成することを目的とする。

【教育目標】

薬学部

- ・医療人として必要なコミュニケーション能力、倫理観および豊かな人間性を涵養する。
- ・薬学の発展に寄与できる高度な専門知識および研究能力を習得する。
- ・国民の健康を守り、地域の保健・医療・福祉に貢献できる能力を研鑽する。
- ・患者および医療従事者に薬剤の適正使用に関する情報を提供できる能力を習得する。
- ・学問の進歩に対応できる柔軟な思考力と問題発見・解決能力を身につける。

本学薬学部における薬学教育

薬学部長 衛藤 雅昭

はじめに

激動する昨今の薬学教育界において、六年制薬学教育がスタートし、そしてこの春、その6回目の6年制卒業生を輩出しました。社会的に影響の大きい医療分野で、重要な役割を担う薬剤師の養成教育課程が大幅に改革されました。また、超高齢社会の到来に伴い、老人保健福祉、地域医療、在宅医療、社会保障等の分野においても、高度な専門知識を持つ医療従事者がますます必要とされています。

本学薬学部は、「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成する」ことを目的としています。本学薬学部においては、一人でも多くの優れた薬剤師を輩出すべく、1年生から6年生まで綿密な教育計画を立て、現在以下に示すような方針で薬学教育を実行しています。

旧カリキュラム（平成26年度以前の入学生に適用）の概要

六年制薬学教育においては、6年次に特別実習と総合薬学演習Ⅱを修了し、その後の薬剤師国家試験に合格することが究極的な目的になります。その前の段階で、4年生の修了前に行われる共用試験(CBT, OSCE)が大事で、その2つの試験に合格することが求められます。これらの教育課程を念頭に置き、以下のような教育計画を組んでいます。

①教養科目及び英語教育

教養科目として「倫理学」「心理学」「現代経済論」「現代社会論」などが、とくに優れた医療人を養成するための教養科目として「医療と法」「医療概論」「くすりと法」「臨床の実際」などが、1年生に配置されています。さらにコミュニケーション能力を身につけるために「臨床コミュニケーション論」が4年生に配置されています。

また、英語教育としては、1年生（英語Ⅰ・A・B）から、2年生（英語Ⅱ・英会話A・B）、3年生（薬学英語A・B、薬学文献講読A・B）まで、広い範囲で外国語教育が位置づけられています。

②基礎教育から専門教育

1～2年生においては、理科3科目（物理・化学・生物）を基礎物理学・基礎化学・基礎生物学で行い、それとともに専門教育に移行し、物理学・物理化学・化学・有機化学（Ⅰ～Ⅲ）、生物学、機能形態学Ⅰ・Ⅱの教科目が配置されています。

2～3年生においては、これらの基礎科目の土台の上に、各種専門教科目が配置されています。化学系では、物理化学Ⅰ・Ⅱ、薬品分析化学Ⅰ・Ⅱ、有機合成化学・薬品製造学・医薬品化学を、生物系では、生化学Ⅰ～Ⅲ、微生物学Ⅰ・Ⅱ、基礎免疫学、分子生物学などが配置されています。その他、衛生化学領域の科目が主に3年生、及び4年生に配置されています。これらの上の専門科目では、薬理学系として、基礎薬理学・疾患薬理学Ⅰ～Ⅲ、薬物治療学、薬物代謝学、分子薬理学（4年）などが、医療薬学分野では、臨床免疫学、臨床医学総論（4年）などが、また、薬剤学系では、医療薬剤学、生物薬剤学、製剤学などが配置されています。

③共用試験及び薬剤師国家試験への対応

4年生においては、総合薬学演習Ⅰ（CBT対策）、及び実務実習事前学習（OSCE対策）を中心に従来の各教科目のまとめを行います。

5年生においては、病院・薬局実務実習、及び特別実習（卒業研究）を行います。

6年生においては、アドバンスト科目の受講の他、特別実習（卒業研究）のまとめの発表、並びに総合薬学演習Ⅱを行います。

新カリキュラム（平成27年度入学生より適用）の概要

平成27年度入学生より、新しいカリキュラム（教育課程）で教育が行われています。

最初に、簡単に薬学教育について説明をします。わが国の医療人教育（医学・歯学・薬学）には文部科学省の定めた「コアカリキュラム」と呼ばれる中心となる教育課程があります。これに基づいた教育を行うことで、大学に係わらず一定レベルの教育が実施され、その結果として医療人教育の質の保証がなされています。

さて、薬学教育で用いられる「コアカリキュラム」のことを「薬学教育コアカリキュラム」（以下、コアカリ）と呼びます。コアカリは薬学教育に対して文部科学省が定めている教育の基準であり、全ての薬学部・薬科大学がそれに準じたカリキュラム（教育課程）で教育を行わなければなりません。そして、薬学部・薬科大学のカリキュラムは、その時間数の70%でコアカリについて全て教育し、残りの30%は大学独自に実施するとされています。

平成27年度から新しいコアカリが実施されることになりました。その理由としては、従来のコアカリが2002年に作成されていることから、その後の学問の発展や社会のニーズの変化に対応する必要性が生じたこと、さらに、実務実習の充実を図り、医療人としての薬剤師を養成する教育を従来にも増して強化する必要が生じたこと、などがあげられます。また、文部科学省からは新コアカリの提示と同時に、薬学教育の最終ゴールとして、10か条の「薬剤師に求められる基本的資質」（421ページ参照）が示され、教育目標の最上位に位置づけられました。この結果、卒業時にはこれらの目標を、全ての薬学部・薬科大学卒業生がクリアしていることが求められることになりました。このような背景から、平成27年度4月から全国の薬学部・薬科大学で、一斉に新コアカリに基づいた新カリキュラムが実施されることになったのです。

本学では、新コアカリに準拠して上記の「薬剤師に求められる基本的資質」を身に付けるのはもちろんのこと、さらに教科目に独自の工夫を加えて今回の新カリキュラムを完成させました。

新カリキュラムの特徴は次のようにまとめることができます。

1. 基礎科学教育や薬学準備教育科目を充実させ、基礎学力の向上を目指した。
2. 一般教養科目を4年次まで選択可能とし、一般教養を涵養する機会を増やした。
3. 演習、チュートリアル講義を新設することで、単なる学力だけでなくコミュニケーション能力の向上を目指した。
4. 歯学部との同一科目での講義や演習を行うことで、チーム医療の大切さを学ぶことができる体制を整えた。
5. アドバンストコースを充実させることで、自分の目指す将来の薬剤師像にあった講義等を選択できるようにした。
6. 各学年末に進級関門科目として総合演習を実施し、学年毎に当該学年の学力を保証する体制をとった。

なお、カリキュラムは学年ごとに詳細な説明が必要ですので、今後、進級に伴い、各学年のオリエンテーションなどを通じて理解してください。

奥羽大学薬学部3ポリシー（新カリキュラム対応）

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

薬学部は、本学の目的と教育目標とに基づき教育課程を通じて、以下のような能力を身に付け、かつ所定の単位を修得したものに学士（薬学）の学位を授与する。

1. 社会人としての教養と医療人としての豊かな人間性、高い倫理観、強い使命感を身に付け、患者の意向を尊重した態度で患者とその家族に対応することができる。
2. 多様な背景を持つ人と速やかに良好なコミュニケーションを取ることでできる能力を身に付け、患者、患者の家族、医療チームのメンバー等と信頼関係を築くことができる。
3. 医薬品・化学物質等の作用や性状、生体および環境への影響に関する科学的な根拠を理解・分析し、発信できる十分な知識と能力を有する。
4. 患者の様々な病態における医薬品の使用に際し、安全かつ有効な薬物療法の提案および評価を行うことができる。
5. 医療人として地域の特性を理解・把握・分析できる能力を持ち、多職種連携を通して、地域の保健、医療、福祉、健康増進に貢献できる。
6. 最新の薬学専門知識に基づく先進的薬物療法を患者に提供するために、生涯にわたって主体的学習を継続できるように自己研鑽に努め、次世代を担う人材の育成に取り組むことができる。

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

ディプロマポリシー（学位授与の方針）に掲げる知識・技能・態度などの能力を修得するために、薬学部では以下の方針でカリキュラムを編成する。

1. 豊かな人間性と深い教養を身に付けるために、人文科学・社会科学・自然科学を広く学ぶことのできる教養科目を4年間にわたり随時受講可能となるように配置します。また、教養科目、医療薬学系科目、実務実習等により、6年間を通して医療に関わる専門家としての自覚と倫理観を醸成します。
2. 薬学の基礎を順次学修するために、「薬学教育モデルコアカリキュラム」に準拠した科目群を適切な時期に配置します。
3. 2年次からの本格的な薬学専門教育開始の準備のために、初年次に導入教育を開講し、続いて高度な知識・技能・態度を身に付けるために、薬学専門科目及び専門実習を履修します。
4. コミュニケーション能力と問題発見・解決能力を醸成するために、レポートによる文章表現や少人数グループによる討論(SGD)などによる能動的学修法を多学年にわたり取り入れます。
5. 保健、医療、福祉、健康増進を支援できる能力を養うために、1年次にチーム医療学演習等を、2～4年次に薬学系科目、衛生薬学系科目等を配置し、系統的に学修が進むようにします。
6. 薬物療法における実践的能力を養うために、2～4年次に薬学の基礎から応用・臨床に関する知識・技能を順序立ててバランスよく修得できるように科目を配置し、知識のまとめとしてSGDを用いた演習を実施します。
7. 5年次の実務実習では、地域及び社会が求めている医療を直接学ぶとともに次世代を担う薬剤師としての実践的能力や倫理感を養います。
8. 4～6年次の卒業研究では、薬学専門科目や実務実習の学修を総合的に活用し、科学的な思考能力、問題発見・解決能力、情報発信能力を高めます。

9. 医療の現状を見据えながら将来の医療を考え、また、学生の意欲や興味、将来の進路等に
応じられるよう、専門分野により特化した薬学や最新の医療、実践的なコミュニケーション
等を学修できる薬学アドバンスト科目を開講します。
10. 1～3年次では、各学年の学修の総仕上げとして薬学演習Ⅰ～Ⅲを履修します。また4～6
年次では、それまでに学修した全ての科目の集大成として薬学演習Ⅳ～Ⅵを履修し、薬剤
師として必要な、自発的且つ継続的な自己研鑽力を身に付けます。

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

本学の建学の理念は「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」です。
薬学部では、その具現化のために薬剤師としての必要な知識と技術の修得だけにとどまらず、
他者とのコミュニケーションを積極的に行うトレーニングを通し、人間性と道徳観や倫理観を
育てていきます。また、進歩していく社会やニーズの変化に対応するためには、常に課題を探
究し、解決するまで研鑽し続ける力をつけることが必要となります。

本学部では、高等学校等における幅広い学習を通じて、次のような資質を備えた入学者を求
めています。

求める人物像

1. 国民の健康の維持・増進に役立ちたいという志を持っている。
2. 生命を尊重し他者を思いやる心を持っている。
3. 地域医療を支える意識を持っている。
4. 薬剤師という職業に魅力を感じ、その仕事に携わりたいという強い希望と意欲を持っている。
5. 薬剤師として、生涯にわたって自己研鑽を続けるための強い意志を持っている。

入学前に身に付けていることが望まれる知識など

1. 入学後の学修に必要な基礎学力(国語, 英語, 数学)を有している。
2. 高等学校までの理科3科目(物理, 化学, 生物)の中で1科目以上について、その内容を身に
付けている。
3. 基本的なコミュニケーション能力を発揮するための基礎的な知識・態度を身に付けている。

□入試種別アドミッションポリシー

●一般入試

薬学部のアドミッションポリシーに合致する入学者を求めます。

●AO入試

アドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。

1. 高等学校での学習に限らず、課外活動や社会活動など様々な活動に対し積極的な態度で参
加している自らの活動実例を表現できる。

●推薦入試

アドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。

1. 高等学校で学ぶ基本的な学科目、特に理数系科目について、優れた学力水準にある。
2. 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組むことができる。

●特待生入試

アドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。

1. 高等学校で学ぶ基本的な学科目、特に理数系科目について、優れた学力水準にある。
2. 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組むことができる。
3. 将来、薬剤師として指導的立場に立って社会に貢献したいという意欲を有する。

奥羽大学薬学部3ポリシー（旧カリキュラム対応）

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

本学の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 国家試験に合格し、卒業後に薬剤師として活躍するために必要な知識・技能・態度を修得している学生
2. 修得した知識・技能・態度により、新たな課題に向かって日々努力する能力を持つ学生
3. 豊かな人間性、倫理観とコミュニケーション能力を持ち、保健・医療・福祉分野等に貢献できる学生

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成するため、次のことを意図したカリキュラムを編成する。

1. 教養科目を通して、専門性に偏らない幅広い視野と豊かな人間性、倫理観を持つ学生を育成する
2. 専門科目を通して、専門的な知識や技能を高め、薬剤師としての確かな基礎を持つ学生を育成する
3. 実習を通して、課題探求能力を養い、知識に裏付けられた実践能力のある学生を育成する
4. 臨床実習（実務実習）を通して、医療人としての人間性・倫理観はもとより、知識・技能・態度など総合的な能力のある学生を育成する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

(1) 求める学生像

1. 好奇心旺盛で探究心のある学生
2. 医療を通して社会に貢献する情熱を持つ学生
3. 地域医療を支える意識を強く持つ学生
4. 医療人に相応しい倫理観を持つ学生

(2) 入学時まで身に付けてほしいこと

1. 基本的なコミュニケーション能力と薬剤師としての思考
2. 高等学校までの基本的な国語、数学、英語を理解していること
3. 高等学校までの基本的な理科の知識を身に付けていること
4. 理科3科目（物理、化学、生物）の中で、少なくとも1科目については、高等学校までの内容を理解していること
5. 与えられた課題を単にこなすのではなく、自ら取り組む学習習慣を身に付けていること
6. 他者を思いやる心